

# 第五中学校区義務教育学校 開校準備委員会 NEWS【No.4】

令和4年11月 編集・発行 貝塚市立義務教育学校開校準備委員会

令和4年10月31日(月)、二色小学校において第4回貝塚市立義務教育学校開校準備委員会が開催され、事務局から10月に実施した校名案アンケートの集計結果が報告されました。また、12月に実施を予定している給食、制服などに関するアンケートの実施方法について協議しました。

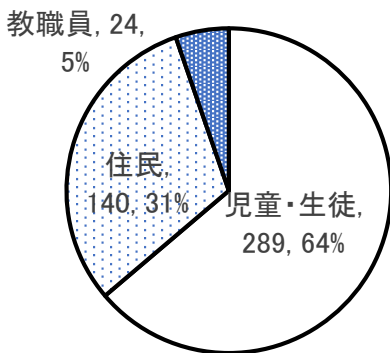
校名案アンケート集計の結果、

## 二色学園(にしきがくえん)

が、最多となりました。

10月4日(火)~21日(金)まで校名案アンケートを実施した結果、453件の有効回答をいただきました。詳細は次のとおりです。

○有効回答数 453件



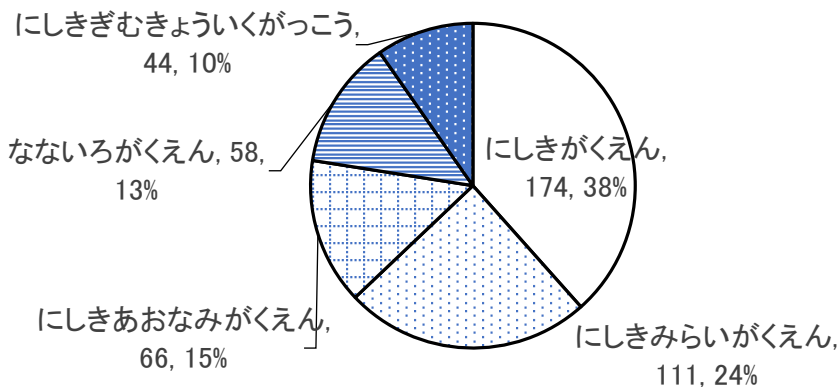
回答者の内訳は、二色小・五中の児童・生徒が289人、校区の住民が140人、教職員が24人でした。

校名案は「にしきがくえん」が、174票で全体の38%、次点の「にしきみらいがくえん」が111票で全体の24%でした。

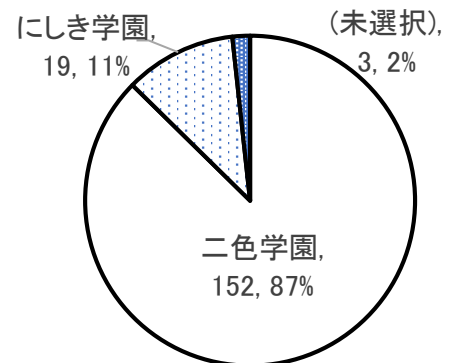
「にしきがくえん」の表記方法は、漢字の「二色学園」が152票で87%を占め、アンケートの結果、「二色学園」が最多となりました。

「にしきがくえん」は児童・生徒で93票(32%)、校区の住民で70票(50%)、教職員で11票(46%)と回答者別で見ても、すべての属性で最も多い票数となりました。

○校名案



○表記方法



このアンケート結果をもとに審議した結果、「二色学園」を開校準備委員会の最終案として選定し、教育委員会に答申を提出することになりました。

今後、教育委員会において学校設置条例に新たな義務教育学校名を記載する改正案を議会に上程し、議決されると正式に学校名が決定します。

## 学年の呼び方・給食・制服等のアンケートについて協議しました

---

12月に実施を予定しているアンケートについて、事務局案が提示され、協議しました。

### 【事務局案】

- ・期間は12/6(火)～12/22(木)、対象は二色小・五中の児童・生徒、保護者及び教職員と二色小に入学予定の未就学児の保護者とする。
- ・開校準備委員会で各項目の選択肢を決定する。

### 【委員の意見と今後の対応】

#### ○アンケート全体

- ・その他の自由記述欄を設けているが、多数決が原則のアンケートでどのように取り扱うのか。
- ・小学校低学年が回答する際、理解できない部分も生じると思うが、きちんと説明してあげることによって自分たちで学校を作ったという思い出が残ると思う。新しい学校ができるというめったにない機会なので、その過程を学んでほしい。

#### ○学年の呼び方

- ・9年間を見通した教育活動を行うという義務教育学校の趣旨を考え、小中学校の概念を取っ払った1年から9年という呼び方にしたほうがよいのではないか。
- ・義務教育学校の生徒は、入試で中3という呼び方は使わない。対応できる呼び方にしたほうがよい。
- ・前期1～6年生、後期1～3年生とした場合、同じ名前の学年が2つ存在することになり、混乱するのでは？

⇒教育活動と深く関わってくるため、アンケートの対象から外すことも検討する。

#### ○制服・体操服

- ・制服のデザインを新しくした場合、価格が上がってしまう可能性が高い。メーカーに調査し、価格が上がるなら今の価格と見積額を掲載するなど、注意書きを入れる必要がある。体操服も同様。

⇒価格について調査、次回会議で報告する。デザイン変更による影響を説明に加える。

#### ○給食

- ・小学校で実施している「学校で調理した給食」と、中学校で実施している「デリバリー方式の給食」のイメージがわかりにくいかも。

⇒「学校で調理した給食」「デリバリー方式の給食」の具体的な説明を加える。

次回会議は11月18日(金)19時から開催します。

義務教育学校のページ  
(貝塚市ホームページ内)

お問合せ：貝塚市教育委員会事務局 教育総務課 山本 (TEL433-7106)  
学校教育課 永井 (TEL433-7114)  
Mail kyoikusomu-h@city.kaizuka.lg.jp

